

飯能市エコツーリズムにおける 10 の推進のポイント

①住民が誇りとするふるさとの風景の保全・再生に活かす

エコツーリズムをきっかけとして、農地と林が一体となった里地・里山や、緑豊かな川の織り成す美しい風景、郷愁を誘う山あいの集落の風景、まちなかや街道沿いの伝統的なまちなみなど、住民が誇りとする飯能市のふるさとの風景を保全・再生します。

②自然を守り育む森づくりにつなげる

飯能市は森林が概ね 4 分の 3 を占め、その 8 割が人工林ですが、管理が行われない林も多くなっています。近年、森林には多様な役割（野生生物の生息場所、二酸化炭素の吸収、土の流出防止、水源の涵養、保健休養など）が求められていることから、エコツーリズムを、自然を守り育てる森づくりのきっかけとします。

③飯能市の森林文化を新たな地域の発展に活かす

飯能市では、江戸時代から続く西川材の産地として森林文化が育まれてきました。こうした森林文化を、現代に求められている環境保全や、安全、健康な暮らしづくりなどに適用することによって、新たな地域の発展に活かします。

④源流から中流までの親しみ深い川の自然と文化を活かす

飯能市の大きな魅力の一つとして、源流から中流までの変化に富み、親しみ深い川の自然があります。訪れた人がこうした川の自然に触れ、楽しむ機会をエコツーリズムによって提供するとともに、川遊びをはじめとする、川とともに育まれてきた文化を活かします。

⑤さまざまな野生生物の魅力や人との関わりを題材とする

飯能市は里地・里山から山地にかけてさまざまな野生生物が生息・生育しています。これらの野生生物の魅力や人との関わりを題材にしたエコツアーを地域振興や野生生物の適切な保護と管理に役立てます。

⑥身近な自然を保全・再生し、自然豊かなまちづくりに役立てる

飯能市の代表的な自然である雑木林や湿地などの里地・里山の身近な自然や、生物の豊かな河川を保全・再生するエコツアーを実施し、飯能市を身近に豊かな自然があるまちにすることに役立てます。また、エコツーリズムを、自然の保全・再生を進める新たな活動を生み出すきっかけとします。

⑦地域の生活文化や年中行事などの伝統を活かす

衣食住をはじめとする地域の生活文化や年中行事などの伝統は、そこに暮らす人にとっては当たり前のもので、観光客にとっては魅力的なものです。また、かつて行われていた焼き畑による雑穀づくりや炭焼きなども、健康志向の現代になって再び注目されています。こうした里地・里山の生活文化や伝統をエコツーリズムに活かします。

⑧長い年月をかけて培われた伝統的な技術を新たな時代に活かす

織物や陶芸、森の管理技術や農業の技術など、飯能の自然と人によって育まれ、伝えられてきた技術を、エコツーリズムに取り入れることによって新たな時代の地域経済や地域産業の発展に活かします。

⑨地域住民の全員参加により、一人ひとりの個性を活かす

飯能市では、生活文化や伝統をエコツーリズムの資源とすることによって、特別な知識や技術を持つ人だけでなく、誰もがガイドになれるエコツーリズムを進め、地域住民の全員参加によって一人ひとりの個性を観光と地域振興に活かします。さらに、住民が地域の共生と循環の文化を再発見し、自らの暮らし方を再考するきっかけとします。

⑩繰り返し訪れたり宿泊したりすることで地域の魅力を堪能できるエコツアーを用意し、飯能のファンを増やす

地域の資源を活かした多様なエコツアーを用意し、繰り返し訪れたい魅力をつくります。また、地域の自然や文化、人との交流をゆっくりと堪能できる宿泊滞在型のエコツアーの充実を図り、飯能のファンを増やします。